

《新しい三機関連携のしくみができるまでの経緯とその成果の概要》

豊島区

の方針

豊島区は長崎健康相談所との複合施設として児童相談所を建設する

豊島区は子ども家庭支援センターの役割をそのまま存続させる

目標:三機関(児童相談所・長崎健康相談所・子ども家庭支援センター)の行動連携づくり

三機関の実務者レベルによる具体的な連携の在り方検討会議の開始

開催日時	主な検討事項(抜粋)
第1回 令和4年4月18日	児童相談所の業務紹介と今後の連携への検討課題の整理
第2回 令和4年5月16日	これまでの各機関連携の好事例から学び、今後の展開検討
第3回 令和4年6月14日	国の児童虐待死亡事例検証結果から三機関の責務を学ぶ
第4回 令和4年7月12日	妊娠期から家族を支援する健康相談所の役割を理解する
第5回 令和4年8月10日	各機関のリスクアセスメントシートの紹介と理解を深める
第6回 令和4年9月14日	各機関のリスクアセスメントシート活用の実際を確認する
第7回 令和4年9月20日	三機関で共有が可能なアセスメントシート等の検討開始
第8回 令和4年10月5日	三機関の具体的連携を行うためのマニュアル作成開始
第9回 令和4年10月24日	三機関の役割分担を定めた要綱の作成開始
第10回 令和4年11月2日	三機関連携の報告書案・マニュアル案の提示。意見交換
第11回 令和4年11月28日	意見交換の結果踏まえ、内容の整合性確認・修正
第12回 令和4年12月5日	三機関連携報告書・マニュアル・要綱完成

検討の過程で出てきた知見

“共通の言語”を用いる中でこそ真の“共通の理解”が進む

まずはそれぞれの機関のアセスメントを共有することが大切(別紙1 参照)

成果物

- ① 三機関が連携する上での職員間の合意形成の過程をまとめた報告書
- ② 三機関が連携するために実際に使用する様式の使用マニュアル
- ③ 三機関が連携していくためのルールをまとめた要綱